

やすらぎ

京都市立病院
広報誌

2016

秋



広沢池(右京区)

—特集— クローズアップ診療科 ～皮膚科・耳鼻いんこう科、 地域に根差した医療を目指して～

- ◆ リハビリテーション科のご紹介
- ◆ お薬の正しい飲み方、知っていますか？
- ◆ がん相談支援センターのご紹介
がん患者・家族のサロン『みぶなの会』
- ◆ 入院前から退院までの患者さん支援について



地方独立行政法人京都市立病院機構
京都市立病院

京都市立病院の皮膚科と耳鼻いんこう科では、日常生活と密着した数多くの疾患を取り扱っています。

加えて、近年両診療科ともに紹介患者数が増加しており、地域の医療機関との連携を密にし、地域に根差した医療を提供しています。

皮膚科の特色

京都市立病院の皮膚科では、皮膚疾患全般を対象として、その原因追及を根本理念として診療に当たっています。とりわけ、アレルギー性疾患に重点をおき、薬疹、接触皮膚炎については、パッチテスト、プリックテスト、皮内テストなどを駆使して原因追及を行っています。

アトピー性皮膚炎については、毎週木曜日の午後にあトピー外来を設けて、スキンケアを中心としたきめ細かい生活指導も行っています。

また、当科は帯状疱疹や^{ほうかしきえん}蜂窩織炎、^{はくせん}白癬、^{こくせん}黒癬などのウイルス・細菌・真菌感染症の経験が豊富であり、原因微生物の確定や入院診療を京都府随一のレベルで行っています。皮膚腫瘍などに対する手術症例についても、大学病院に次ぐ実績を誇っています。



带状疱疹とは？

Q どのような症状ですか？

A 身体の左右どちらかにぴりぴりとした刺すような痛みが続き、続いて赤い斑点と水ぶくれが集まって帯状に現れます。加齢、ストレス及び過労などが引き金となり、ウイルスに対する免疫力が低下したために神経に潜んでいた水ぼうそうウイルスが再び活動を始め、神経を伝って皮膚に到達し発症します。

Q どのような治療法がありますか？

A ウイルスの増殖を抑える抗ヘルペスウイルス薬の内服や点滴を行います。痛みについては、痛み止めや神経痛の薬を服用します。皮膚症状が治癒した後も痛みが続くことがあるため、痛みを取り除く神経ブロックなどが必要となる場合があります。

Q 小西皮膚科部長から一言アドバイスをお願いします。

A 赤い斑点と水ぶくれが生じたら、できるだけ早くに抗ヘルペスウイルス薬を使用することが肝心です。直ちに皮膚科を受診したうえで、できるだけ安静にし、患部は冷やさないようにしましょう。重症の場合、入院のうえ点滴加療が勧められます。また、水ぼうそうにかかったことのない人に水ぼうそうをうつしてしまうことがありますので、小さい子どもとの接触は控えましょう。

に根差した医療を目指して～

耳鼻いんこう科の特色

耳鼻いんこう科は、ほぼ全ての耳鼻いんこう科疾患について迅速に対応が可能です。当院の外来からはもちろん、他院からの転院のご依頼についても緊急入院を受け付けています。また、通常の外来・入院患者さんのいずれも特定の疾患に特化することなく万遍なく受診していただいております。がんなどの再建を伴う大掛かりな手術についても幅広く対応可能です。



中耳炎とは？

Q どのような症状ですか？

A 大人の方が中耳炎になることは稀ですが、小さいときに中耳炎を繰り返された方のなかには、大人になってからも繰り返して耳垂れが出たり、片方だけ難聴が進んでしまったりすることがあります。また、診察してみると、鼓膜に穴が開いてしまっている慢性中耳炎であったり、真珠腫という耳の奥の骨を溶かしながら大きくなっていくかたまりができています。

Q どのような治療法がありますか？

A まずは抗生物質や鎮痛剤を投与することで症状を抑えていきますが、多くの慢性中耳炎・真珠腫性中耳炎の方には手術を行い、鼓膜の穴をなくしたり、真珠腫を取り去ったりしています。

Q 豊田耳鼻いんこう科部長から一言アドバイスをお願いします。

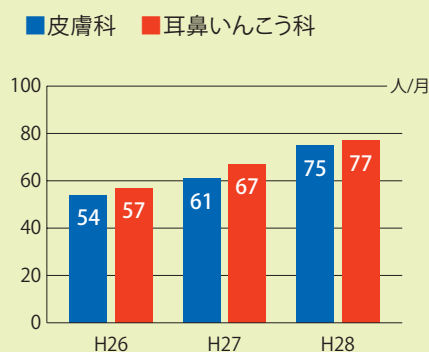
A 小さいときに中耳炎を繰り返された方で、片耳の調子が悪いと感じるにもかかわらず、そのままにしておられる場合は、一度お近くの耳鼻いんこう科医院(かかりつけ医)にて受診されることをお勧めします。

地域医療連携の取組

市立病院では、地域の先生方では原因追及が難しい病気の患者さんや入院加療を含めて特別な治療の必要な患者さんを安心して紹介いただけることを目指しています。そして、症状が安定した後は、紹介元の医療機関での治療を再開していただきます。

また、ご紹介いただいた患者さんの来院時、方針決定時及びその後の経過について、紹介元の医療機関に対する報告を欠かさないことを心がけています。連絡を密にすることで、市立病院のことをより一層知っていただき、ネットワークがひろがっていかればと考えています。

紹介患者数の状況(初診患者のみ)



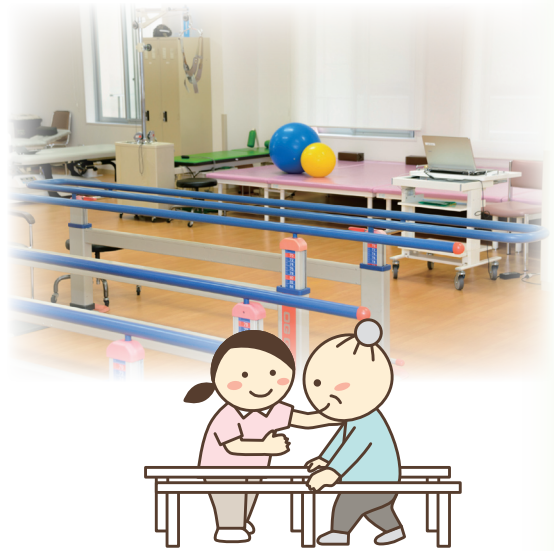
リハビリテーション科のご紹介

みなさんは「リハビリテーション」という言葉を聞いてどのような場面を想像されますか？マットの上で痛む手足をのばしたり、平行棒につかまりながら一生懸命歩く練習をしている姿でしょうか？

「リハビリテーション」とは、できるだけ元の身体の状態にもどすことを目指すとともに、いかにその後の生活を患者さんご本人、家族とともに楽にかつ有意義に、家庭や地域で過ごせるかを医療者のチームで考えていく過程、また病気や障害と折り合いをつけながら、自分なりの生活を取り戻そうとする試み、それらを包含するものをいいます。

リハビリテーションには、大まかに次のような種類があります。

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 医学的リハビリテーション | 平行棒やマットの上での練習で機能回復を目指すもの |
| 回復期リハビリテーション | 一定の機能回復を終えて、住み慣れた地域に帰るためのもの |
| 地域リハビリテーション | 地域に帰ってからの生活を長く維持するためのもの |



当院では、リハビリに携わる職種として、リハビリ専門医、理学療法士 (PT)、作業療法士 (OT)、言語聴覚士 (ST) が揃っています。

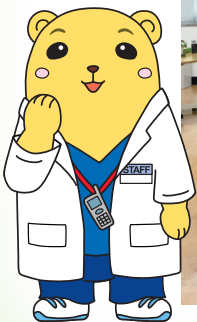
リハビリ専門医は、「病気や外傷の結果生じる障害を医学的に診断治療し、機能回復と社会復帰を総合的に提供することを専門とする医師」のことで、市立病院では、隣接するがくさい病院と京都府立医科大学との連携により、配置しています。

整形外科での膝・腰の手術後や脳卒中による片麻痺・飲込み・記憶・認知等に関する障害、心臓手術後、がん治療中の患者さんなど、様々な場面でリハビリは必要です。市立病院では、リハビリ専門医を

中心として、それらの患者さんを臓器や組織別ではなく、心身の状態を全体的に見据えた相互的なリハビリを提供しています。

理学療法士 (PT) 11名、作業療法士 (OT) 4名、言語聴覚士 (ST) 3名の万全たる体制で患者さんの機能回復及び社会復帰のお手伝いをします。どうぞご期待ください。

当院の
リハビリスタッフ
だよっ！



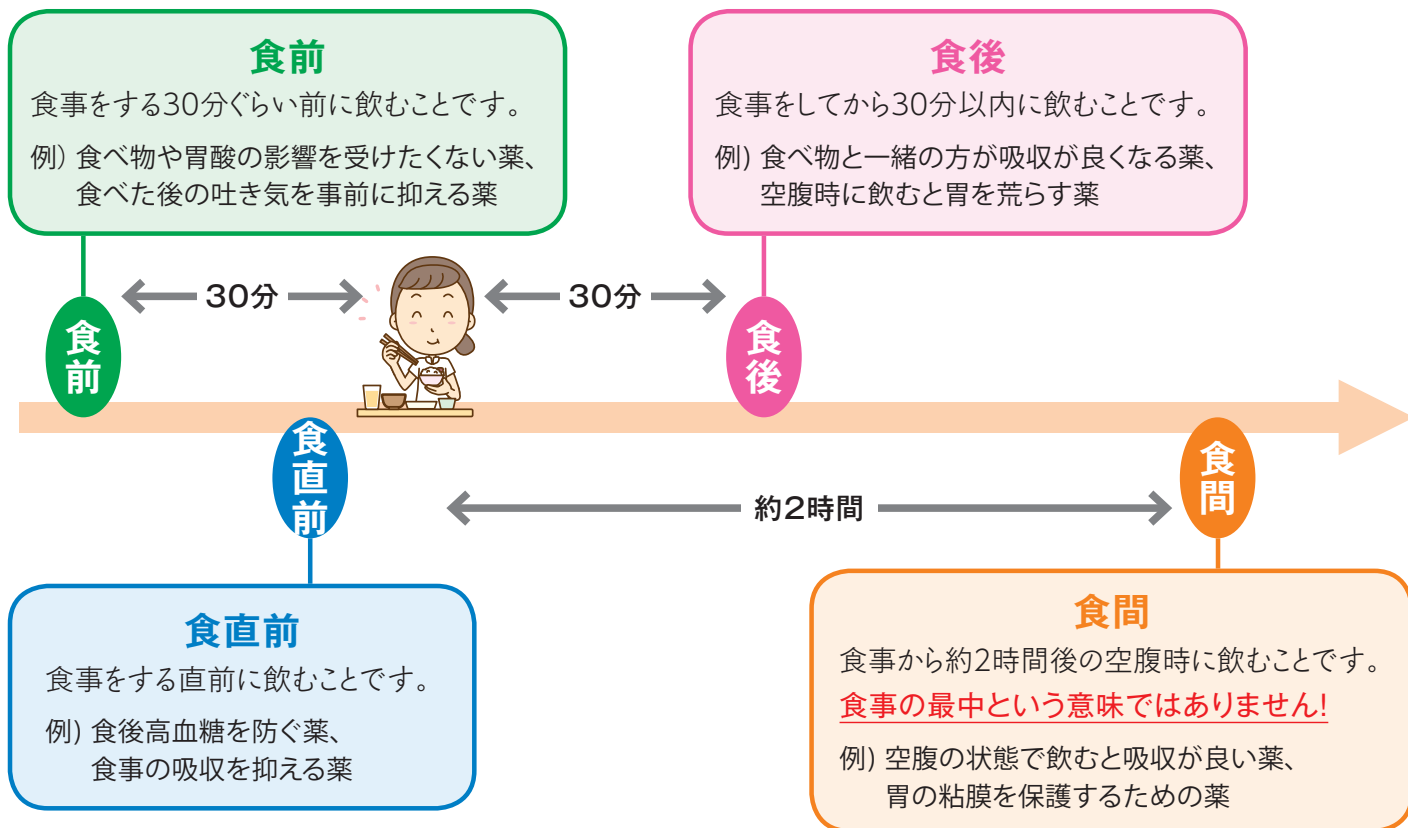


お薬の正しい飲み方、 知っていますか？

正しくすりの効果を得るには、指示された量や回数だけでなく、飲む時間もしっかり守らなければなりません。



★薬を飲む正しいタイミングを守りましょう！



★くすりを飲むときの注意点

1. 包装から取り出すのを忘れずに！

誤って包装シートごと飲み込んでしまうと、のどや食道などを傷つけるおそれがあります。
くすりは包装シートから取り出して飲みましょう。

2. くすりは十分な水又はぬるま湯で飲んで下さい。

少量の水で飲むと、くすりの一部がのどや食道にくっついて、炎症を起こす原因となります。また濃いお茶やアルコールと一緒に飲むと薬の効果に影響が出ることがありますので、一緒に飲むのは避けてください。

3. 自分の判断で勝手に服用を中止しないようにしましょう。

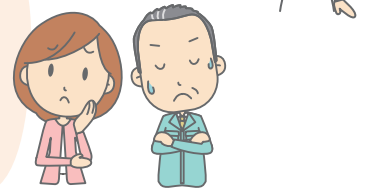
症状が軽くなっても、まだ病気が治りきっていないことがあります。自分の判断で服用を中止せず、必ず医師に相談してください。



がん相談支援センターのご紹介

困ったことや不安なことがあれば
がん相談支援センター
にご相談ください

「検査でがんだと分かった。これからどんな準備をしたらいいんだろう。」
「セカンドオピニオンを受けて、他の先生の意見も聞いてみたい。」
「どれくらい治療費がかかるんだろう…お金のことが心配。」
「治療と仕事を両立させることはできるんだろうか…会社に何て伝えよう。」
「自宅での介護が大変。介護保険や訪問看護などのサービスを使いたい。」



がんの治療を受けるにあたり、このような様々な不安や問題が生じることがあります。生活のことや、治療や療養に伴う疑問、不安を誰かに話すことには抵抗があるかもしれません。また、相談した内容が他の人に知られてしまうことへの心配もあるかもしれません。

そんなときは、不安に思っていることも含めて、相談員に気軽にお話してください。そのお気持ちに配慮をしながら、相談にあたらせていただきます。患者さんご本人やご家族のほか、当院に通院されていない方でも、どなたでも無料でご利用いただけます。ご相談いただいた内容について、ご本人の同意なしに他の方に伝えることはありません。また、匿名でのご相談も可能です。

がんの診断から治療、その後の療養生活、さらには社会復帰と、生活全般にわたって、疑問や不安を感じたときには、一人で悩まず、「がん相談支援センター」(本館1階東口)までお気軽にご相談ください。

がん患者・家族のサロン『みぶなの会』

みぶなの会は、がん患者さんやそのご家族の方が、がん治療の不安や悩み、体験談、日ごろ気を付けていることなどをざっくばらんに語り合い、交流する場として平成21年から月2回開催しています。サロンは20席ありますが、毎回ほぼ全席が埋まり、がんに関するだけでなく日常生活についての話題も多いです。

サロンにはお世話役の方がおられ、初めて参加される方でも馴染んでいただきやすい環境になっています。

また、当院の医師や看護師などを講師に招き、がん治療やケア、食事などに関する学習会も2か月ごとに行っています。

当院に通院されていない方でも大歓迎です。途中参加・退出もできます。ご都合のよいときにお気軽にお立ち寄りください。

日時 毎月 第3水曜日 午後1時30分～3時30分
第4水曜日 午前10時～午後3時

場所 京都市立病院 北館7階サロン ※予約は不要です。



入院前から退院までの患者さん支援について

退院は、病を抱えた患者さんやご家族が病とともに新しい生活の一步を踏み出す時です。それぞれの患者さんが現実を受け止め、その人らしい生活を選択していけるようサポートしています。



入院支援センター

予定入院の方は、入院支援センターで看護師がお話を伺い、必要時には医師、MSW(医療ソーシャルワーカー)、薬剤師、栄養士等と連携し、患者さんや家族が安心して入院いただけるよう支援しています。



入院

患者さんの状態について、医療・介護面だけでなく、社会・経済面も含めて全患者さんを対象にスクリーニングを実施しています。

ポイント

- 患者さん本人・ご家族の意向を確認します
- 医師、看護師、薬剤師、MSWなどの多職種で退院に向けた計画を作成します

退院支援

退院調整

病棟スタッフ、リハビリスタッフのほか、ケアマネジャー等の地域のスタッフとともに退院に向けた準備を進めます。また、退院後の療養生活の計画や情報提供も行います。

以下のような、患者さんのニーズもしっかりくみ取ります！

例えば…

- 通院できなくなったので、訪問診療が可能な医師を探したい…。
- 2階で寝起きしていたけれど、階段の昇り降りができなくなったから、1階で過ごせるようにしたい…。

退院前カンファレンス

転院先の医師、看護師、その他の医療スタッフと蜜に連携し、切れ目なく治療を行えるよう調整します。

安心して退院できるよう、本人・家族、病院スタッフのほか、訪問診療医師、訪問看護師、ケアマネジャー等も含めて、患者さんが安心して退院できるよう話し合いを行い、退院準備を進めます。

転院

→ 回復期リハビリ病院
療養型病院 など

在宅

健康教室「かがやき」

「健康はつくるもの」です。一人ひとりが健康づくりに取り組み健康に過ごしていただけるように、健康づくりを応援する当院各科講師による健康教室を開催します。

- 日 時 毎月第3金曜日 午後2時30分～午後3時30分
- 場 所 北館7階ホール2
- 定 員 先着順50名(予約不要)

11月18日(金)

『誤嚥を防ぐ食生活』

12月16日(金)

『知っていますか? お薬との正しいつきあい方』

1月20日(金)

『ここまで出来る! アレルギー性鼻炎』

禁煙教室 ～吸う人も吸わない人も知って得するタバコの不思議～

タバコ煙の成分やニコチン依存症のしくみ、タバコによる健康被害、禁煙のコツなど、様々な視点から話をします。禁煙希望者には医師などが具体的なアドバイスを行うほか、その場で当院の禁煙外来を予約することができます。

- 日 時 毎月第2金曜日 午後2時～午後3時
- 場 所 北館7階ホール2
- 対 象 京都市立病院に入院や通院している方に限らず、禁煙に興味のある方ならどなたでも

糖尿病教室

糖尿病は、療養を怠ると数多くの恐ろしい合併症が現れる反面、適切な治療を続けていけば、健康な人と変わることなく生活することができます。糖尿病についての正しい知識を持って、糖尿病と向き合っていきましょう。

- 日 時 毎月第3木曜日 午後3時～午後4時
- 場 所 北館7階ホール1

11月17日(木)『食事療養こそ最高の特效薬です』

『運動でからだもこころもすこやかに』

12月15日(木)『知っておきたい薬の知識 ～飲み薬～』

『日常生活の心得

～こんな時どうしていますか?～』

1月19日(木)『糖尿病の合併症 ～三大疾病から認知症まで～』

『始めてみませんか?』

お口のケアから見直す糖尿病』

がん患者・家族のサロン「みぶなの会」

がんで療養中の患者さんとそのご家族の集まりです。患者さん同士で、色々な悩みをお話したり、情報交換ができます。人と話をしたり、話を聞くだけでも、気持ちが軽くなるものです。気軽な気持ちでご参加ください。

- 日 時 毎月第3水曜日 午後1時30分～午後3時30分
毎月第4水曜日 午前10時～午後3時
- 場 所 北館7階サロン
- 対 象 がん患者さん及びそのご家族

送迎バス時刻表(無料・予約不要) ※平日のみ(土日祝・年末年始は運休)

時間	京都市立病院		阪急西院駅(ツタヤ前)		JR丹波口駅(ユニクロ前)	
8時		30		35		45
9時	00	30	05	35	15	45
10時	00	30	05	35	15	45
11時	00	30	05	35	15	45
12時						
13時		30		35		45
14時	00	30	05	35	15	45
15時	00	30	05	35	15	45
16時	00	30	05	35	15	45

やすらぎ 2016・秋号 2016年10月24日発行

発行：京都市立病院機構 京都市立病院

〒604-8845

京都市中京区壬生東高田町1番地の2

TEL 075-311-5311

FAX 075-321-6025



京都市立病院

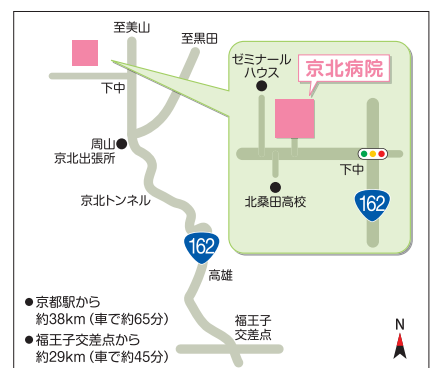
〒604-8845
京都市中京区壬生東高田町1番地の2
TEL 075-311-5311(代)
FAX 075-321-6025(代)
<http://www.kch-org.jp/>

♀送迎バス バス停
♂京都市バス バス停



京都市立京北病院

〒601-0533
京都市右京区京北下中町鳥谷3番地
TEL 075-854-0221(代)
FAX 075-854-0825(代)
<http://www.kch-org.jp/keihoku/>



●京都駅から
約38km(車で約65分)
●福王子交差点から
約29km(車で約45分)